

二二一八番

朝霧あさぎりの たなびく小野をのの
萩はぎの花はな 今いまか散ちるらむ
いまだ飽あかなくに

二二一九番

恋こひしくは 形見かたみにせよと 我わが背子せこが 植うゑし
秋萩あきはぎ 花はな咲さきにけり

二二二〇番

秋萩あきはぎに 恋尽こひつくさじと 思おもへども しゑやあたら
し またも逢あはめやも

二二二一番

秋風あきかぜは 日ひに異けに吹ふきぬ 高円たかまとの 野辺のへの秋萩あきはぎ
散ちらまく惜をしも